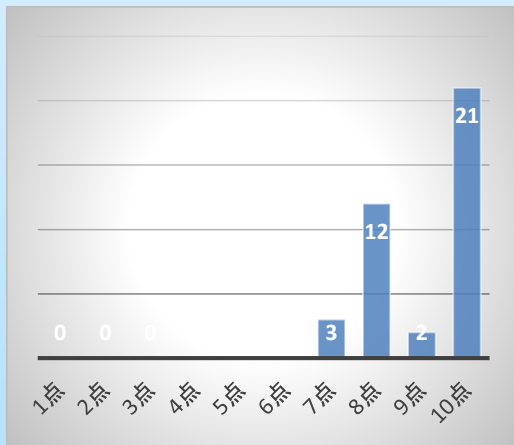


# 第4回 DISTAL BYPASS WORKSHOP アンケート結果 (グラフの点数は10点満点、全く満足出来ない場合0点)

第1日目

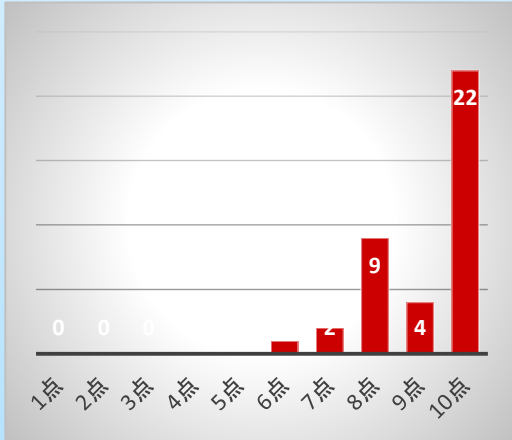
## 1-①ランチョンセミナーについて



平均 9.1点

- distal bypass の基本について学べたので良かった。
- spriced veiw graft は使用経験がないので参考になった。
- 人工血管と静脈のcomposite graft はpetency 不良であること、再確認できた。
- 吻合方法などin-situやnon-reversは行ったことがなかったが、それぞれのメリットを学ぶことが出来た。
- グラフトの使い方について非常に詳細に説明頂き勉強になった。
- 各グラフトの利点、欠点など、わかりやすかった。
- グラフトの理論的背景が勉強になった。
- 自分がグラフトとして知らなかった動静脈を知ることができて良かった。
- グラフトの知識が広がった。
- 講師の先生方の熱意とわかりやすい講義が良かった。
- 全くの知識不足で丁寧に教えていただいた。
- 復習になった。
- 興味深かった。
- その他のセッションでも同様の内容が合った。
- 貴重なお話を、食べながらもれなく聞くのは難しかった。
- 昼食が出来るとは思わなかった。

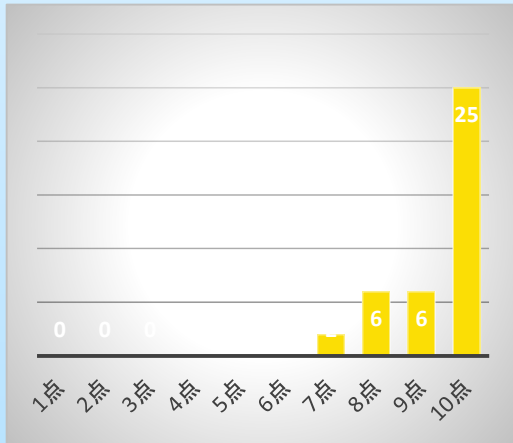
## 1-② Distal Bypassの為の血管アプローチについて



平均 9.2点

- Distal 後方アプローチのビデオが珍しく非常に勉強になった。
  - 末梢吻合部の血管露出のポイントを学ぶことができ、今後に生かしていきたいと感じた。
  - 末梢吻合部の決定のプロセス、アプローチ、血管遮断といった細かい点までわかりやすかった。
  - 扱ったことのない血管の露出法など勉強になった。
  - 普段見られない術野を多く見せて頂き勉強になった。
  - バリエティに富んだアプローチ法を見せてもらい勉強になった。
  - ビデオが大変わかりやすかった。剥離の実際の手技に即したポイントや注意点、工夫など大変参考になった。
  - 動画が多くわかりやすかった。動画が欲しくなった。
  - 経験のない部位について勉強になった。
- 
- 理解しやすかった。色々と勉強になった。
  - とても参考になった。
  - 為になった。
  - 解剖、陥りやすい pitfall などもう少し聞きたかったです。
  - 目標の動脈に達するためのメルクマークをもう少しちゃんと教えてほしかった。
  - 解剖学的な注意点について詳しくシエーマなどあれば。
  - 画像の説明が早くてどの場所だったのか、全身像から局所までの目線の移動がついていけなかった。エアターニケット法を試行していきたい。ピオクタニンペンマーキングは有用。
  - 実際のexposureの動画 etc.あるとわかりやすさが増したと思う。

## 1-③ 「Bypass戦略の立て方と血管吻合」 について

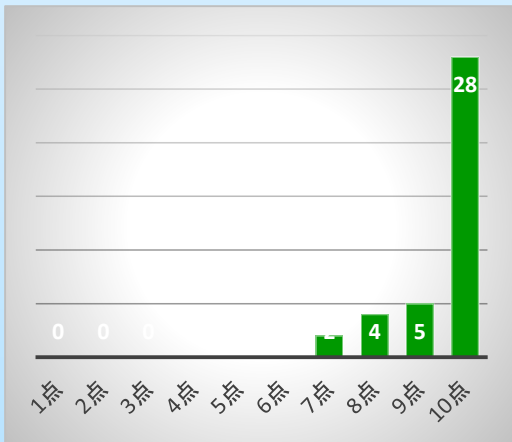


平均 9.4点

- DBならではの吻合方法がよく理解できた。
- DBの成功する秘訣のようなものなど面白かった。
- ここまでつなげるのか！と驚かされる症例が多く面白かった。
- 血管の吻合方法について施設ごとに決まった方法があり勉強になった。一番大事なことは定型化することで今後に生かしていこうと思った。
- 自分が普段やっている吻合方法とは異なる吻合方法など見ることができよかった。
- 救肢より救命。色々な吻合方法があることを知った。
- トリミングで vein を少し端を残すというのは良いなと思った。

- 東大式血管吻合を実践してみた（ドライラボ）前立ちを選ばなくても吻合が可能でよい方法だと思った。ブロック麻酔法を麻酔科にもっと多く依頼していきたい。
- 素晴らしく勉強になった。全く経験のない症例もあり、視野が広がった。
- スタンダードな考え方を知ることができ助かりました。
- 熱のこもった濃い内容で勉強になりました。
- 困難な症例について勉強になった。
- 色々な症例をみることで良かった。
- 多くの症例を見せて頂き勉強になった。
- 多くの症例が聞けてよかった。
- 為になった。とても参考になった。
- 非常に勉強になった。
- 多くの知識が得られ勉強になった。ただ少し長かった。
- それぞれのDr.によって各施設の吻合に対するこだわりを教えてください。

## 1-④ 「Distal Bypassのコツと落とし穴」 について



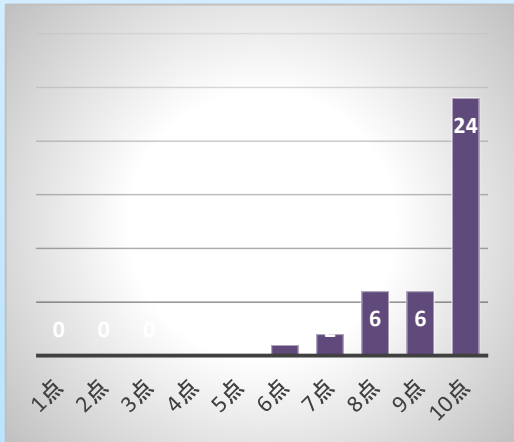
平均 9.5点

- spasm の対処や、高度石灰化のCFAにファーガソン鉗子を使用する等勉強になった。
- 石灰化の解決法が新鮮だった。
- 基礎疾患の多いCLI症例の注意するポイントを要点をついで勉強することができた。
- 動脈クランプ法、マーキング法（グラフト）の具体的方法がためになった。パパベリンをもっと多用すべきであると感じた。
- inflow があれば、どこを吻合部に決定するか再確認した。血管れん縮などのトラブル対応も知った。中枢末梢吻合部は術前に2,3カ所想定するようにしようと思う。

- ポイントが非常にわかりやすかった。「迷ったら時間のかかる方を選択する」というお言葉がとても印象的であり、最良の結果を得るためには目先の手間を面倒くさがってはいけいないのだと感じた。私もその言葉を大事にしようと思う。
- それまでの講義をふまえた上で聞いたのでわかりやすかった。
- 多くの経験をこなしてきたエキスパートならではの話を聞いて大変感銘を受けた。
- 施設による違う考え方、新たな考え方が勉強になった。
- 大変説得力のある内容で大変勉強になった。
- 図表がとてもわかりやすかった。
- 色々な技を知ることができた。
- 役に立つ事ばかりで勉強になった。
- とても良かった。内容がわかりやすかった。
- とても参考になった。
- ビデオがあればよりわかりやすかった。
- なぜそのようにするのかという理由がもう少し詳しく知りたかった。少し話が早く聞き漏らしがあった。



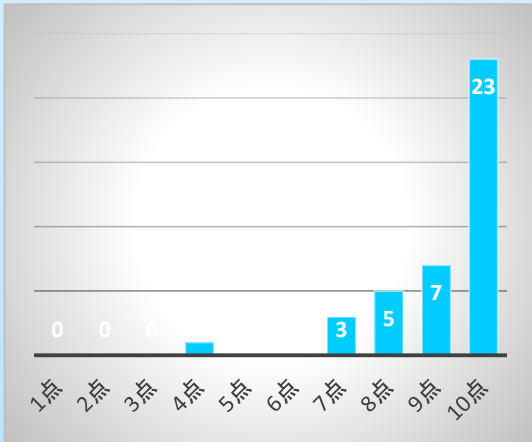
## 1-⑤ 「Distal Bypassの周術期管理」 について



平均 9.3点

- ASOの5年生存率の例えや神経ブロック、足部処  
理にいたるところまでわかりやすかった。
  - Bypassをすれば足の傷は皮膚科、形成にと依頼す  
ることが多かったが、自分たちで傷の処置をして  
いくことの大事さがわかった。
  - 遠隔予後がどれくらい期待されるのか、およその  
推定ができた。患者と家族へのICにも利用してい  
きたい。
  - 一貫した周術期管理をわかりやすく講義してい  
ただいた。
  - 術前後の管理について参考になった。
- 失敗談と失敗した要因を聞いて良かった。
  - 色々思い当たる所があった。
  - 自分ももっと傷に関わっていきたいと感じた。
  - 熱い気持ちが伝わった。
  - 下肢への愛を強く感じた。
  - 虚血肢に対する愛を感じた。
  - 虚血肢への愛を感じた。でも確かにCLLIIは治っていく過程やいかに治すかという様々な工夫も含めた治療全体が面白いと思う。杉本先生のように虚血肢と向き合い、治せるようになりたいと思った。
  - 腐った足への愛着が湧いてきた。
  - 複数施設のやり方がわかり、大変勉強になった。
  - とても参考になった。
  - わかりやすかった。
  - 大まかでよいのでもう少し詳しく術後の foot care ,debridwen 等についても話を聞きたかった。
  - 一般論だけでなく、より臨床に沿って困った症例での対応を教えてほしい。

## 1-⑥ イブニングセミナーについて

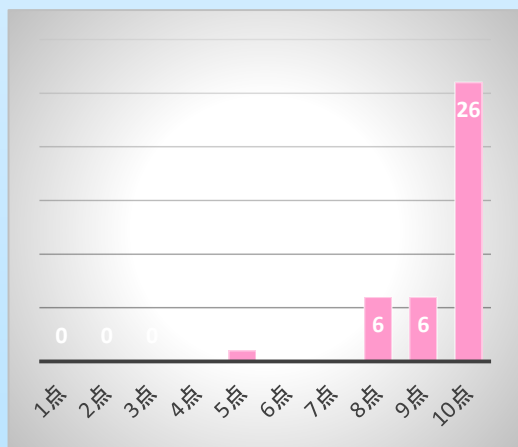


平均 9.2点

- in situ の問題点などよくわかった。
- ピットフォールと新しいデバイスが分かりやすくレクチャーいただいた。
- 大変勉強になった。
- とても参考になった。
- 興味深かった。
- 新しい弁カッターがこれから販売されることに期待します。弁カッターの合併症の全国アンケートが興味深かった。厚労省への説明理解、市場開放に対する尽力、ご苦労様です。

- 弁カッター使わず嫌いだったが、今後トライしてみようと思った。
- 弁カッターを初めて見た。Non reversed で使ってみたい。
- 弁カッターについて改めて使い方やピットフォールについて勉強になった。
- 弁カッターによる静脈損傷の合併症の発生理由、使用時注意すべき点がよくわかった。
- 今までreverse しか経験がなく、弁カッターは全く知識が乏しい状況だったのでこのセミナーは大変勉強になった。
- 今まで使用したことがなかった弁カッターについて新しく色々を知ることができた。
- 弁カッター使用経験がないので今後何に注意をして使用すればよいか勉強になった。
- 弁カッターのコツがわかって良かった。
- 弁カッターのしくみ、注意点がわかった。
- 静脈弁カッターを使用することがあり、とても勉強になった。
- 久しく弁カッターを使用していないので大変参考になった。
- ガイドワイヤーの弁カッターが楽しみ。

## 1-⑦ケーススタディについて

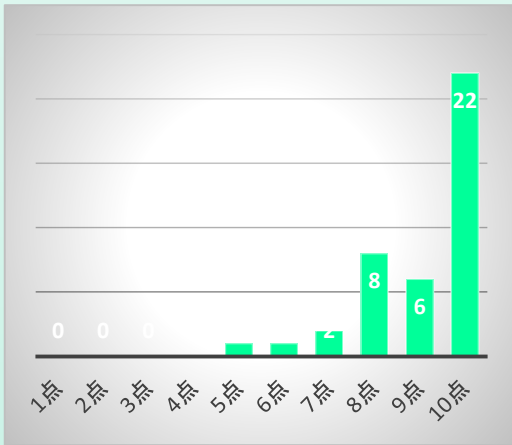


平均 9.4点

- ・ 興味深い症例だった。
- ・ やや時間が短かったが、ストラテジーを学べた。
- ・ ストラテジーを学ぶことが出来て良かった。
- ・ どのような考え方に乗っ取って方針を決めていくか、リアルに検討できてよかった。
- ・ 実際の臨床に生かせる考え方を教わった。
- ・ しっかりと討論できとても良かった。
- ・ 事前に内容を把握できていたのが良かった。
- ・ 自分の考えた診断のロジックが大きく違わなかったので安心した。他のアプローチについての意見も参考になった。
- ・ 手術戦略に色々な考え方があるのが分かって勉強になった。エキスパートの先生方がどのような点に気を付けているのか、ということもわかり勉強になった。
- ・ 第1例目の症例は興味深かった。グループ討論に熱が入った。しかしアルコールを少し制限しての討論になった。

- ・ 第一線のドクターのエッセンスを直に聴けて最高でした。
- ・ お酒が入った状態でのケーススタディ形式が非常に良かった。
- ・ お酒が入って講師の先生方の本音が垣間見えたので少し安心した。
- ・ お酒が入りつつも緊張感のあるスタディができた。チューターの先生の意見を身近に聞きやすくて良かった。
- ・ 多くの先生とコミュニケーションが取れて楽しかった。
- ・ 色々な先生方の意見が生で聞けて良かった。
- ・ 色々な先生の意見が聞けたが、あまり参考になるような発言はできなかった。
- ・ 気を付けるポイントや戦略に関して様々な意見を取り入れることができ有意義だった。
- ・ 各症例で様々な視点から見つめることで勉強になった。
- ・ 色々考えるポイントがあり勉強になった。
- ・ 大変勉強になった。
- ・ もう少しディスカッションが盛り上がるといいなと感じた。
- ・ 2例とも難しい症例であったが、他の人の考えや指導医の先生の考え方を学ぶことができ、非常に得るものが多かった。時間の制約もあると思うが、もっと多くの症例があっても良かった。
- ・ 2症例だけでなく、もう少しあれば。
- ・ 検討症例がもっと多いとより良い。
- ・ ゆっくりご飯が食べたい。自己紹介が長く、とてもご飯が食べられる雰囲気ではなく、そのままケーススタディ・・・

## 2-①Dry Lab実習について

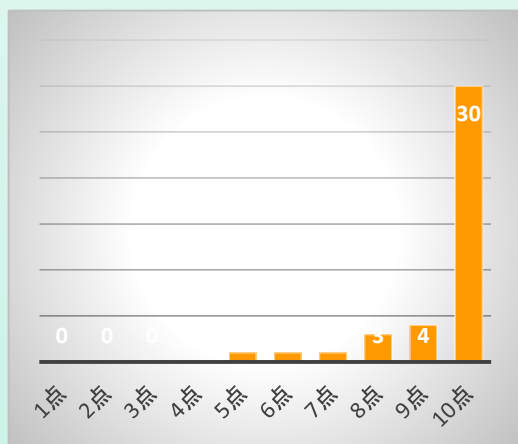


平均 9.1点

- 東大式の吻合は初めての経験であり、良い吻合だと思った。
  - 普段も使える安価なレスラムがあり良かった。東大式の吻合を教えてもらうことができた。シリコンチューブを使ってみたかった。
  - 吻合後の評価がためになった。東大式はマスターすれば末梢吻合で利用できそう。良いというのを実際に肌で感じられてよかった。吻合が下手だったので8点とした。
  - 豚頸動脈が使用できてよかった。
  - 金子先生に色々教えて頂き、多く吻合させて頂き、とても良かった。
  - 深打操作の練習になった。
  - 保科イズムを感じさせていただいた。
- 植木鉢の吻合、難しくとても練習になるように感じた。
  - 植木鉢を使用したシュミレーション法は参考になった。
  - 植木鉢を使用した深部での吻合、練習したくなった。自施設でも導入したい。
  - 植木鉢のアイデアはとても良いと思った。さっそく戻ったら同じ装置を作りたい。
  - 植木鉢を用いたDry Lab、stressfulで難しかったが、セットアップも簡単そうなので、今後自施設（個人トレーニング）で活用しようと思った。
  - 植木鉢の深さがあまりに深く難しく困った。実際の手術とは異なる困難さだった。
  - 植木鉢が深すぎてミスマッチだった。
  - 予想以上にやりづらい（深い、狭いなど）状況での吻合がよかった。2人でやる前提のtaskだと思うが、1人でやっても術野を全て自分でコントロールする良い練習になると思う。実際1人でやったが、やりくりを考えることが勉強になった。
  - 卓上でできる実技練習、持ち帰ってやってみようと思った。道具をぜいたくに使うことができ楽しかった。
  - 今回教えて頂いたDry Labの工夫を当施設でも実践できそう参考になった。
  - 普段やらないような深い場所での吻合をすることができて勉強になった。
  - 良かった。いいトレーニングができた。
  - 難しくとても練習になった。2時間でも時間が足りなかった。
  - いろいろな吻合方法が楽しめてよかった。時間を気にして吻合の結果が雑になった。
  - Dry→Wetという流れがベストと思います。
  - 事前の準備不足を感じてしまった。
  - 先生方もやり方を模索していながらでありましたので今後に期待します。
  - 練習方法がわかり有用だった。もっと講師による個人指導がいただけたらより良いと思う。
  - 指導者がもう少しずっとそばにいてほしい。
  - 台座がぐらぐらでした。



## 2-②Wet Lab実習について



平均 9.5点

- ・ 頸動脈剥離からの吻合まで初めて経験できた。
  - ・ 実際の手術に近く勉強になった。
  - ・ 実際の豚で練習することができていい経験ができた。
  - ・ 手技が実際に勉強できて非常に良い経験ができた。
  - ・ 実践的でとても良かった。途中途中のアドバイスも良かった。
  - ・ 他施設の先生の手技やインストラクターの先生の話など非常に満足した。
  - ・ 血流計ですぐに結果が判明して良かった。
  - ・ 次回は頸部にもチャレンジしてみたい。
  - ・ 自分で動物のvital管理をせず、吻合実習に集中できた。
  - ・ 全ての血管外科医がやるべきかもしれません。
- ・ 豚の頸動脈、静脈剥離、操作を丁寧にしないとspasmを起こし手技の難しさを学んだ。
  - ・ spasm を起こしやすく、細い血管でも吻合が逆に勉強になった。
  - ・ 豚さんの血管 spasm しやすく驚いた。
  - ・ 豚を使う手技は初めてであり、面白かった。細い血管で難しかった。
  - ・ vein が細く短く満足のいくようなバイパスにならず残念だったが、吻合自体は良好にできたと思う。
  - ・ 充実していた。
  - ・ 良かったです。ベテランの先生とのペアで勉強になった。
  - ・ もっと時間が欲しいくらい。
  - ・ もっと時間が欲しかった。もう少しflowをよくしたかった。
  - ・ 豚さんに感謝します。
  - ・ wet の良いのは、血管の spasm 、出血のリアリティだと感じた。指導医の先生の吻合の細かいコツを教えて頂き非常にありがたかった。結局流れが悪く残念な点で8点とした。
  - ・ あまりにも上手くできなかつたので自信喪失してしまった。
  - ・ 実践に近い感覚でやることができたが、大腿と頸部で違いが大きかった。
  - ・ 頸部グループと鼠径グループで負担の差が大きい。2グループの労力が均等になった方が良い。血流量計の使用がよかった。
  - ・ 豚一匹でやれることは限られると思うが、もう少したくさん吻合などできると良いと思った。(グラフトは別に用意されたものを使ってもよいと思う)
  - ・ やることが多くてできなくて残念な気持ちになって終わった。

## 2-③その他に関してのご意見

- Distal Bypass について、たくさんの先生が熱い思いを持っているということがわかり、私も頑張って末梢血管をやってほしいと思った。とてもいい刺激になった。最後に宮田先生に握手をしていただいたのが嬉しかった。
- 講師の先生方が熱心に教えて下さり、コツやこだわりを学ぶことができて良かった。特に児玉先生には大変お世話になりました。
- とてもいい勉強になり、またいい仲間作りもできた。自分でDistal Bypass 症例を経験し、また参加したいと思った。
- 「静脈マーキングは主治医がやる」「創部を愛すること」など先生方の熱い気持ちを学ぶことができ、今後自施設で少しでも近づけるようになっていきたいと思った。
- 充実した2日間であった。特に2日目、まるまる手技実習でき、エキスパートの先生と少人数グループでの実習だったので質問もしやすくてよかった。
- 血管吻合を堪能した。
- タイムスケジュールでしたが、多くのことを学ぶことができた。
- ブタの解剖の予習はもう少しすべきだった。結果的にうまく静脈が採取できたが、確信がなかった。損傷なくてよかった。
- メモを取り切れなかった部分が多く、スライドもしくは発表のビデオがあったらいただきたい。
- 助手の仕方など、エキスパートの運針をまねるのが近道なので実際に見たい気がします。
- wet、dry とも、勉強させていただきありがとうございました。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- とても楽しく勉強になりました。ありがとうございました。
- 素晴らしい会で大変ためになった。今後の治療に活かしていきたい。
- お弁当がおいしかった。
- Dry→Wetがベストかと思われます。
- 午前午後とも Wet Lab が良い。
- 実習時間がもっと長く取れた方が良い。もう少し太い血管も利用（大動脈）できないか。
- 座学よりもdry lab、wet lab の時間をより長くした方がよいと思った。
- 前日に聞いた内容をすぐに実践できるのがよい。（特に吻合方法など）個人個人の手技にもう少し細かいコメントがあってもよいと思う。
- wet lab の吻合方法は確立されたものがなく、より細かいポイント指導をいただきたいかった。
- もう少し技術的な指導が欲しかった。
- もう少し講師の先生方のアドバイスをいただきたいかった。
- 少し待ち時間があるのが気になった。
- 1日目の夕食を取る時間があまりなかった。
- 遠方からの参加は時間的な制限がある。

## 開催日、申し込み方法等ワークショップの運営について

- 学会に行っていないとこのワークショップの存在すら知らないままな人が多くいらっしゃると思う。
- 血管外科会員のメールで見ると知らなかった。
- 第4回目は参加者不足とのことで、追加募集の学会メールがあったので気付いた。学会からのアナウンスだけだと見逃してしまいそう。
- 参加したいであろう年代の先生方が、脈管学会の試験と重なったのが少し残念でした。
- この時期の土日開催が良い。
- 夕食はビュッフェスタイルよりも一人一人の方がよい。
- 出席者の所属先が自己紹介のみでは覚えられないので一覧が欲しい。
- 準備等大変だったと思います。ありがとうございます。また講師の先生方ありがとうございました。
- 講師の先生方、そして共催で協力くださった会社スタッフの方々、2日間本当にありがとうございました。第1日目より参加したかったのですが、なかなか都合がつかず、4回目での参加となりました。Distal Bypass を集中的に学べるこのワークショップは血管外科医として受講マストであると確信いたしました。後輩に受講を勧めたいと思います。

## テキストに関して、ご意見

- エキスパートの先生方の実際の遮断方法や薬の使い方が書いてあるのが非常に参考になる。
- 系統だっついていて理解しやすい。
- 良くまとまっていて、各施設のやり方が出ているのがとてもよい。バイブルになります。
- 大変有用です。少しdistal bypass の経験があるとわかりやすい本であると感じた。
- テキストが冊子としてあるのは、前もって予習しやすく、復習するのにもとても有効だと思った。
- テキストを用いて復習したい。
- わかりやすい。解剖図がもっと大きいとより良い。
- わかりやすかった。
- 市販されたらもっと売れそう。
- wet lab で聞いたような、それぞれの先生方のこだわりについてもっと知りたかった。
- 血管露出法、ルート作成のバリエーションについてより詳しいと良い。
- 血管吻合法に関してもっと詳しく知りたい。
- 図があるとより良いと思う。とくに吻合、pitfallについて。
- もう少し資料が多いとより使い勝手が良いと思う。吻合の手順（分解写真による例示）診断ロジックのフローチャートなど。
- 実際の症例が入ってもよいのではないか。
- セミナーの内容ともう少し合致していると良かった。
- 少し誤字があるので校正をお願いします。他の教科書の内容と同じ文章を認めました。筆者が同じだから構いません。更に新しい物を書いていただいた方が良いと思います。価格が若干高いです。
- 可能であればテキスト配送を早くして欲しい。
- 高い。